

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立北本高等学校 】

1 実践テーマ	【 II・IV・V 】
2 実施対象者 (学年・人数)	<ul style="list-style-type: none"> 本校陸上部生徒（10名） 北本市内小学生
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 () ② 行事名 (小・高交流陸上競技指導) ③ その他 () <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の小学生との交流を深め、実技指導やその補助をすることを通じて、小学生の実技指導の充実を図る。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 北本市内の小学生に対し、10月9日に行われる事前指導（実技指導）を本校陸上部生徒が行う。 あわせて、10月9日の体育大会当日には、補助役員として運営に関わる。 <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボール投げ ②長距離走 ③短距離走 ④ハードル走 ⑤高跳び ⑥走り幅跳び ⑦リレー <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(実技指導の当日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(体育大会の当日)</p> </div> </div>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 本校生徒は言葉がけから説明の仕方まで、小学生の目線に立ち、終始丁寧な指導を実践した。

	<ul style="list-style-type: none"> • 時にはゆっくりと何度も見本を見せながら、あるいはポイントごとに分けて説明するなどし、体の動きを小学生のレベルで意識化させる指導をした。 • このような交流により、児童の運動意欲が喚起され、陸上競技の特性を深めることができた。 • 本校生徒にとっては、年代の異なる相手に教授する経験を通じ、コミュニケーション能力を高める契機となった。さらにはスポーツを多角的に捉え、考える経験を通じて、生涯スポーツの視点を養うことに繋がった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 単なる実技指導に終わらず、生徒自身が無意識化しているスキルを意識化させ、年代(言語レベル)の異なる相手(小学生)に対してどのような説明の仕方をすれば効果的に理解させることができるかについて、陸上部部員にあらかじめ課題として考えさせておいた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 陸上部部員の数が少ないことで専門競技を網羅できないため、指導を期待される競技全般に対して十分な指導を行うことが難しい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 本事業はこの他に毎年2月に実施する「北本高校校長杯 中学生バレーボール大会」、「北本高校校長杯 中学生バスケットボール大会」と並ぶ「K I S E P事業(北本市小・中・高相互交流事業)」の一環であり、次年度以降も北本市並びに北本市教育委員会との連携をより深めながら、双方にとっての学びの実践を積み重ねていきたい。


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立北本高等学校 】

1 実践テーマ	【 I ・ II ・ IV ・ V 】
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒（513名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名（ ）</p> <p>②行事名（アスリートによる講演会）</p> <p>③その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>①イベント名（ ）</p> <p>②その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年に向けて、オリンピックへの関心を深め、スポーツの価値を知ると共に力強く生きていく姿勢を学ぶ。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアスロン日本代表選手として、日本トライアスロン選手権大会で11回優勝し、アテネ・北京・ロンドン・リオデジャネイロの各オリンピックにも出場した、田山寛豪先生をお招きし、「オリンピックを経験して学んだこと」をテーマに御講演いただいた。 ・田山先生には、生涯スポーツの観点からもスポーツのすばらしさを伝えていただくとともに、生徒が未来へ向けて自信を持って歩んで行けるエールとなる御講演となるよう、お願いした。  <p>(講演中の様子)</p> <p>《講演内容》</p> <p>(1) 可能性との出会い</p> <p>流通経済大学駅伝部に入ってから、アテネオリンピックに出場するまで</p>

	<p>(2) 自己と向き合う 北京・ロンドン・リオデジャネイロ オリンピックに向けて</p> <p>(3) 生徒へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンスは平等 ・夢があればどんな困難でも乗り越えられる ・身体を鍛えて、心を鍛える ・「ありがとう」という言葉の大切さ
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・田山先生は、講演の中で、オリンピック選手は特別な存在ではないことを強調されていた。持続する意志の大切さ、周囲に感謝する心の大切さ、そして自分と向き合い夢を信じてひたむきに努力をすることの大切さを力説された。 ・たとえ失敗しても夢を持ち続けて努力をした姿勢は、必ず人生の次のステージに繋がるというお話は、生徒の心に響き、今後の進路実現へ向けての力強いエールとなった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・御講演の前に、学校課題についてあらかじめお伝えし、内容が一般的なものではなく、本校生徒の内面に響き、未来を生きる糧となるようお願いした。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック出場クラスのアスリートは、講演料や日程などの都合でなかなか快諾をいただくことができなかった。 ・今回、田山先生は、本校と縁のあったマスコミ関係の方を通じて御紹介いただいた。田山先生には、本校の限られた日程も十分に御理解の上、快く引き受けていただき、非常に感謝している。
9 来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし